

第102回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現 前 建 買 負 発 有	預 金 物 掛 のれん 送 価 券 利 息	当 売 の 修 壳 支 諸	座 買 れ 繕 上 手 料 資產	預 目的 引當 金 引當 金 上 手 料 資產	金 有價 証券 引當 金 引當 金 上 手 料 資產	受 貯 滿期 未 仕 租 諸	取 藏 保有 払 入 稅 負	手 品 債券 法人 入 公課 債	形 品 形 税等 形 金 費 税等	売 仮 支 資 修 法 人	掛 払 手 本 繕 人	金 税等 形 金 費 税等
---------------------------------	--	---------------------------------	---------------------------------------	--	--	----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	--	---------------------------------	----------------------------	------------------------------

- (試験範囲の改定により試験範囲外となつたため削除)
- 決算にあたり、法人税等の当期充当額を ¥ 2,500,000 計上する。なお、すでに法人税等の中間納付を ¥ 1,500,000 行い、仮払法人税等で処理している。
- 平成 20 年 6 月 12 日に、松田株式会社の社債（期間 10 年、利率年 7.3%、利払日は 3 月 31 日と 9 月 30 日の年 2 回）額面総額 ¥ 10,000,000 を売買目的で額面 ¥ 100 につき ¥ 98 で購入し、代金は売買手数料 ¥ 10,000 と前回の利払日の翌日から購入日までの端数利息とともに小切手を振り出して支払った。
- 建物の改修工事を行い、工事代金 ¥ 6,000,000 を小切手を振り出して支払った。なお、工事代金のうち ¥ 2,000,000 は耐用年数延長のための支出であり、残りは定期的修繕のための支出である。この修繕については前期に ¥ 1,000,000 の修繕引当金を計上している。
- 堀産業株式会社は、野坂株式会社を吸収合併し、株式 500 株（1 株の発行価額 ¥ 50,000 ）を交付した。なお、合併によって引き継いだ野坂株式会社の諸資産は ¥ 100,000,000 、諸負債は ¥ 60,000,000 であった。また、交付した株式の発行価額総額を資本金に組み入れる。